



NPO 法人 つくば環境フォーラム

平成 28 年度 活動報告

特定非営利活動法人（NPO 法人）「つくば環境フォーラム」は、つくば周辺地域の環境をよりよい形で未来世代に引き継ぐことを目的に、地域の環境保全の実践・環境教育活動・行政等への提言活動を展開しています。平成 28 年度は以下の活動を行いました。

1. オオムラサキの棲む里山づくり（環境の調査・研究・保全事業） 参加者総計 のべ 744 名

平成 14 年より、良好な里山の象徴としての国蝶オオムラサキが棲み続けられるよう、つくば市下平塚にて雑木林の保全・再生事業を、ボランティアで展開しています。この地域には、周辺の開発が進んだ後も、緑の島として民有林と県有地合わせて 20ha を超える里山の自然が残ります。オオムラサキをはじめとする生物の多様性が保たれる里山の手入れを行い、子どもたちが身近な自然とふれあい学ぶ場として活用することをめざして、保全活動・体験活動を行いました。

・森づくりボランティア

民有林である保健保安林では平成 15 年より森づくりボランティアを継続しています。今年度も筑波学院大学の学生がインターンとして参加しました。夏の蝶や冬の越冬幼虫を皆で観察して、オオムラサキが森に定着したことを確認できました。10 回実施、のべ 108 名参加。

・里山こどもワンダーランド作戦

親子自然体験プログラム「里山こどもワンダーランド探検隊」を開催し、子どもたちも森の手入れ、オオムラサキの越冬幼虫調査、植樹活動等に参加しました。10 回実施、のべ 348 名参加。活動を支えたスタッフ・ボランティアのべ 40 名。

・自然あそび塾

小学生の自然体験活動「自然あそび塾」を森ボラと同日の午後に実施しました。子どもたちが森に出会い森を理解するきっかけとなる活動を、自然が好きな大人のサポーターとともに作りあげる試行的な取り組みです。夏のキャンプを含め 11 回実施、のべ 189 名参加。活動を支えたスタッフ・ボランティアのべ 59 名。

実施日	森ボラ	ワンダー	自然あそび塾
4月30日	-	41名	20名
6月18日	8名	43名	18名
7月23日	7名	48名	17名
8月8-9日	-	-	15名
8月27日	9名	-	-
9月10日	7名	44名	19名
10月22日	-	30名	20名
11月28日	14名	23名	18名
12月26日	9名	29名	18名
1月21日	10名	30名	16名
2月25日	21名	34名	16名
3月25日	23名	26名	17名
参加者計	108名	348名	189名



森ボラ(筑波学院大学生と作業) 森の基地づくり(ワンダー)

木の観察 ビオトープの生きもの探し(自然塾)

2. 葛城大規模緑地利活用体制構築（環境の調査・研究・保全事業） 参加者総計 のべ 822 名

市街地に隣接して残された葛城大規模緑地（県有地）は、自然環境を保全しつつ利活用をめざして市民協働で整備中の 14ha の緑地です。この事業は、当 NPO・一般財団法人つくば都市交通センター連合体に茨城県から委託されています。4 月には春のネイチャーウォーク&交流会を行い 77 名の参加者が森に親しみ、交流を深めました。また、毎月、自然観察会「里山散歩」を実施して（10 回のべ 205 名）、周辺住民に緑地の認知と協働活動への参加を促しました。「森のボランティア」も今年から実施し、周辺住民も参加して森の整備活動を行いました（4 回のべ 32 名）。中心的に森林整備や維持管理を担う「葛城コアフォレスター」を今年から設置して年間を通して活動しつつ、夏場は応援フォレスターも加わって全域の草刈り作業等を行いました（総作業面積 26 万㎡、のべ参加者 547 名）。葛城里山クラブは現在 340 名（うちフォレスター 30 名）の登録者で森を見守るファンが年々増えています。3 月には植樹活動「里山を育てるマイツリー大作戦」に 105 名が参加しました。



春のネイチャーウォーク&交流会



5月の里山散歩



2月の森のボランティア



葛城フォレスターの作業 枯木処理 草刈り クズ退治 林内の片付け作業など



葛城コアフォレスターの皆さん



3月里山を育てるマイツリー作戦（300本の苗木を植樹）

3. 筑波山ファンクラブ（環境教育推進事業） 参加者総計 のべ122名

筑波山の豊かな自然を守り育てる人の輪を広げることを目指し、12回の観察会や調査活動を実施しました。メンバー登録制で、平成27年度の登録者は109名でした。毎回の報告をカラーの「筑波山便り」として発行し、ファンクラブメンバーに送付しています。

実施日	テーマ	参加者数
4月19日	裏筑波のカタクリと早春の植物	7名
5月5日	加波山・春の植物	11名
6月11日	愛宕山・夏の自然観察	10名
7月3日	仏頂山・ヒメハルゼミの鳴く森	18名
8月11日	筑波山・自然研究路の植物観察	11名
9月4日	筑波山・広根場林道の植物観察	7名
10月10日	筑波山・自然展とブナ結実調査	8名
11月27日	加波山・紅葉と晩秋の植物	3名
12月18日	つくし湖～薬王院 野鳥観察	18名
1月22日	茨城県自然博物館の菅生沼野焼き協力	8名
2月19日	筑波山麓を歩く	15名
3月26日	宝篋山・早春のスミレ	6名



7/3 天神の里ビオトープを視察



2/19 筑波山麓 梅の前で記念写真

4. 筑波山における環境教育事業（環境教育推進事業）

参加者総計 のべ4496名

・筑波山ビジターセンター事業

観光物産課と協働で平成25年度より実施。今年度は、11月3日～13日に筑波山観光案内所で紅葉をテーマとして「筑波山ビジターセンター自然のひろば」を行いました。計11日間で、合わせて2823名の来場者がありました。「筑波山自然見どころマップ」秋版を作成し、マップを見ながら筑波山の基礎情報や紅葉する樹木がわかる資料となり、大変好評を得ました。



屋外にマップ配布スペースを設置

この事業には、筑波山自然インストラクターのメンバー7名が参加・協力し、スタッフと合わせ、のべ54名が活動を支援しました。



観光案内所内の様子

ガイドウォーク

筑波山自然見どころマップ（表:イラストマップ、裏:自然解説）

・筑波山自然環境教育事業 参加者数計 のべ126名

つくば市環境都市推進課より委託され、筑波山で自然環境を学ぶ4回の活動を実施しました。様々なコース、様々なテーマで筑波山の自然にアプローチしつくば市の自然環境について学んでいただきました。

実施日	テーマ	参加者数
4月24日（土）	筑波山の春植物を学ぶ カタクリの開花調査をしよう	31名
6月25日（土）	つくばの里山を学ぶ 国蝶オオムラサキの棲む森とホタル舞う谷津田	29名
8月10日（水）	霞ヶ浦～桜川～筑波山水源の森へ	30名
11月23日（水）	筑波山すそのめぐり 筑波山市有林～つくし湖～酒寄	36名



桜川で投網の見学

・自然ガイド活動 筑波山他 参加者合計 のべ284名

筑波山に遠足で来訪する子どもたちなどに、筑波山の成り立ちや岩石、南限のブナ林のこと、生物多様性の高い自然についてなど筑波山の自然を学び、環境保全への理解を進めるインタープリテーションを行いました。車いす生活で自然と触れ合う機会の少ない特別支援学校の生徒たちに筑波山の自然を感じてもらう活動をつつじヶ丘のロープウェイ乗り場近くで行いました。また、宝篋山では、春と秋の2回、校外学習活動にインストラクターが同行し、自然観察をしました。のべ270名にガイドを実施し、活動を支援したスタッフ・ボランティアのべ14名でした。

実施日	テーマ	参加者数
5月26日	つくば市立小田小学校1・2年生 宝篋山校外学習「春を探そう！」	41名
9月15日	茨城県立つくば特別支援学校中学1年生 筑波山つつじヶ丘	6名
9月27日	つくば市立谷田部小学校 筑波山登山	163名
9月27日	つくばみらい市立福岡小学校3・4年生 筑波山登山	19名
10月24日	つくば市立小田小学校1・2年生 宝篋山校外学習「秋を探そう！」	41名



登山前の学習活動

・筑波山の自然展 参加者合計 のべ1,322名

ケーブルカー山頂駅2階休憩所を会場として、10月4～10日の7日間、茨城県自然博物館ならびにつくば市との共催で開催しました。筑波山の自然解説パネル、博物館から借用した動物・昆虫の標本、キノコの模型などを展示しました。のべ1,277名の来場があり、インストラクターのべ45名が参加して、展示解説や筑波山クイズ、ネイチャークラフト、野外ガイドなどを実施しました。



会場の様子

キノコの展示

はく製の展示

野外ガイド

5. しぜんっこくらぶ in ゆかりの森 (環境教育推進事業) 参加者総計 のべ 1224名

幼児とお母さんのための自然体験教室を豊里ゆかりの森で平成14年度より、毎年実施しています。今年も、親子で四季の移り変わりを感じ、自然へのまなざしを育てることを目指し、年間登録制で月に2クラス(水曜日及び金曜日クラス、各30組)計20回を実施しました。子どもだけでなく、お母さんたちにも新しい発見がいっぱい、お昼時間の交流タイムはお母さん同士の会話も弾んでいました。また、この活動では、以前の参加者である「しぜんっこ修了生」のお母さんがボランティアとして協力し、様々に活躍しています。ボランティア研修会も10回実施しました。また、12月、2月、3月に体験参加を募集し、各回3組程度の参加を受けつけ、次年度への活動へつなげることができました。イベントへの参加者総数はのべ1130名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ94名でした。

水曜・金曜クラス	テーマ	参加者数
5月11日・13日	新緑の森へいこう	123名
6月15日・10日	じゃがいも掘りと、とれたてじゃがいも料理	119名
7月6日・8日	夏の生きもの探検隊!~ザリガニ釣り体験	136名
9月7日・9日	生き物いっぱい!つるん~とわらび餅作り	81名
10月19日・21日	秋の森の宝さがし~お月見飾り	98名
11月16日・18日	♪森でフェスティバル&森のパズール♪	111名
12月7日・9日	☆森のクリスマス☆	115名
1月11日・13日	竹筒でごはん炊き・どんど焼き・焼きマシマロ	111名
2月15日・17日	春の七草をさがそう!~七草がゆ	116名
3月15日・10日	春を見つけよう!~よもぎだんごづくり	120名



大きいタケノコの観察

(人数は体験参加者を含む)



じゃがいも掘り



森のフェスティバル



楽しい手遊びと絵本



よもぎだんごづくり

6. つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森 (環境教育推進事業) 参加者総計 のべ 388名

つくば市農業課林務係に「高崎自然の森自然体験教室事業」の依頼を受け、平成21年度より、共催で高崎自然の森での自然体験プログラム「つくば里山楽しみ隊♪」を実施しています。里山の平地林が残っていることの価値や、里山は人が手入れし利用することで自然の豊かさが保たれてきたことを伝えています。冬の森の手入れ体験は、隣接する「おぐろくの森」の維持管理をしている「つくばフォレストクラブ」のメンバーの協力を得て実施、オブジェづくりでは、にれ工房の山崎氏に指導をお願いしました。毎回多数の申し込みがあり、リピーターの参加者も多い事業です。高崎自然の森の認知度もアップし、様々に活用されるようになってきています。イベントへの参加者はのべ333名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ55名でした。

実施日	テーマ	参加者
5月15日	第1回:春の森たんけん+ピース・オブ・フォレスト(親子対象)	91名
7月28日	第2回:夏の生きものマップづくりI(小学生対象)	33名
8月4日	第3回:夏の生きものマップづくりII(小学生対象)	26名
11月12日	第4回:秋の森たんけん+落ち葉アート(親子対象)	79名
12月3日	第5回:森の手入れ体験+クリスマスオブジェづくり(親子対象)	104名



春の森たんけん



生きものマップづくり



落ち葉アート



クリスマスオブジェづくり

7. 筑波山麓谷津田再生事業（環境の調査・研究・保全事業） 参加者総計 のべ1134名

筑波山のふもと神郡にある自然豊かな谷津田を存続させるために始めた沢水を利用した米づくりは、今年で11年目になりました。ホタルやホトケドジョウなど絶滅危惧種が安定的にみられ、サシバやサンコウチョウなどの夏鳥が子育てしています。0.8haの谷津田と周辺の里山林とのつながりが、豊かな自然を育んでいます。今年度は体験付きオーナに33組の親子登録があり、毎回の体験イベントに子どもたちの笑顔と歓声があふれました。

筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会を通して野村不動産株式会社と連携して実施している「かやぶきの里プロジェクト」で、田植え稲刈り体験を各2回実施し、東京からのべ400名の参加者がありました。



田植え

・谷津田の米づくり 参加者計のべ377名

実施日	テーマ	参加者
5月28日	田植え	参加者 75名
7月2日	ホタル観察会	参加者 110名
10月2日	稲刈りイベント	参加者 89名
10月29日	収穫祭	参加者 90名



稲刈り集合写真

生きもの観察

H28年は「米づくりボランティア」に12名が登録、イベント以外の作業日33日間にのべ94名の参加があり、無農薬で8枚の田んぼを維持しています。今年度は親子学習活動「田んぼの楽校」も同時開催し、7回実施して36名の参加がありました。また、23名（37口）の支援者の皆さんに資金の協力をいただきました。

地元の田井小学校4年生13名が6月に授業の一環として田んぼの草取り体験と生きもの観察に来てくれました。また、(株)アレフ（びっくりドンキー）の社員研修を受け入れ、田植え、除草、稲刈りの年間3回の活動を田んぼで行いました（参加者のべ42名）。

谷津田再生事業を支えたスタッフ・ボランティアの数はのべ172名でした。



(株)アレフの皆さん(草取り)

・「筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり」

参加者計 のべ183名

谷津田周辺の里山の雑木林で、森の若返りを図るための立ち木の伐採や下草刈りなどの手入れ、植樹作業をおこないました。「つくば薪クラブ」と連携して、里山整備で出た材を有効活用しています。また積水化学工業(株)の若手社員の皆様のご参加や、親子参加プログラムの実施等、森の整備や植樹の体験を通して里山の大切さを若い世代につたえる活動をしています。この活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ27名でした。



(株)積水化学工業の皆さん



子どもたちも参加

実施日	テーマ	参加者
6月5日	下草刈り	42名
12月23日	雑木の伐倒と薪づくり	28名
2月4日	竹林整備・植樹準備	24名
3月11日	植樹活動	62名

8. 都市と農村を結ぶ「すそみ」の活動(連携促進事業)

・筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会

筑波山麓で活動する個人や団体が連携して、豊かな地域資源や人材を活かした都市と農村の交流を促進し、地域活性化を目指すことを目的に結成された筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会に、参加しています。年2回発行される筑波山麓地域情報紙「すそみろく」編集委員会に参加し、「筑波山麓秋祭り」では「すそみ茶屋」を2日間出店、農家の庭先コンサートなども行って、交流を深めました（参加者約100名）。



すそみ茶屋の庭先コンサート

9. 筑波山麓自然学校（環境教育推進事業） つくば市委託事業

参加者総計 689 名

平成 14 年度から筑波ふれあいの里の主催事業である筑波山麓自然学校の企画運営を担当しています。この事業では、一般市民が筑波山麓の自然環境への理解を深め、将来へ向けての自然環境の保全・自然資源の有効活用と地域の活性化が進むことをめざしています。地域資源を活用して、家族みんなで楽しむ自然体験プログラム、小学生以上を対象として自然をしっかりと学ぶ講座、里山のくらしや文化を学ぶ講座等を実施しました。筑波ふれあいの里の畑を利用した農体験や、調理体験も盛り込んだプログラムが好評です。今年度から、申込みの殺到する夏のイベントをハガキ申込みによる抽選としました。年間 11 回の講座を開講し参加者総数は 587 名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ 102 名でした。

○親子自然体験プログラム

実施日	テーマ	参加者
6月19日	ジャガイモ掘り・ジャガイモ料理・森探検	62名
7月16日	夏の虫・むし探検隊	66名
8月20日	発見・たいけん・沢遊び	52名
11月19日	イモ掘り、さつまいものお菓子作り、森探検	45名
12月11日	焚き火とクリスマスクラフト	60名
3月18日	食べられる野草を探そう・ジャガイモ植え	63名



森探検で落ち葉めぐり



沢遊び

○夏の自然発見プログラム

実施日	テーマ	参加者
7月30日	沢の生きもの観察会	36名
8月6日	昆虫ナイトウォッチング	38名



ならせ餅づくり



100キロのみそづくり

○里山のくらしや文化を学ぶ講座

実施日	テーマ	参加者
1月14日	おもちつきとならせ餅	54名
1月29日	竹ご飯と竹工作	60名
2月11日	100キロのみそづくり	51名

10. ニュースレター「TEF TEF（てふてふ）」の発行（情報収集・発信事業）

「TEF TEF」をつくば環境フォーラムのオピニオン紙と位置づけ、テーマを設定して発行しています（発行部数 2000 部）。教育委員会の協力を得てつくば市内の小中学校にも配布し、教育活動の参考にしていただいています。また、季節ごとの活動に関しては TEF News を発行し、活動の様子を会員・関係機関に知らせるほかホームページ上でも公開しています。

【平成 28 年度発行 ニュースレター「TEF TEF」】

38号	8月発行	外来種～自然を大きく変えるもの 外来種を「入れない！捨てない！扱げない！」
39号	1月発行	持続可能な里山のかたち 「持続可能な里山のかたち」とは



TEF News Vol.20 2016年4月発行
TEF News Vol.21 2016年10月発行

11. その他

●環境の調査・研究・保全事業

「筑波山におけるブナの結実調査」

東京農業大学の依頼を受け、ブナの結実状況の調査を実施しました。茨城県自然博物館や東京農業大学の学生たちも参加し、4日間実施、のべ27名が参加して、約200本のサンプル木について調査しました。

「つくば市自然文化財基本調査」(つくば市委託事業)

つくば市内にある巨樹等の自然文化財の調査を、つくば市文化財課の依頼を受けて行いました。今年度は豊里地区と桜地区について、平成26年度に実施したアンケート調査や文献調査で得られた候補木や現地踏査で見つけた巨樹の調査を行い、81本の巨樹・古木の位置情報、周囲長、樹高、状態等を記録しました。



巨樹調査

●環境まちづくりへの提言活動

委員活動

つくば市文化財保護審議会 8/2 12/13 田中

提言活動

神郡塾講演会「筑波山ならびに里山の自然資源の保護と活用」 10/15 田中
筑波山地域ジオパークパネル討論会 10/22 田中

交流活動

筑波山麓秋祭り(田井地区) 11/5~6 田中、長谷川、大和田



ジオパークパネル討論会 10/22

●情報発信事業

展示啓蒙活動

アースディつくば環境パネル展 4/17~4/24
筑波学院大オフ・キャンパス・プログラム合同説明会展示 4/18 野村・坂口
筑波山の自然紹介パネル 筑波山ケーブルカー山頂駅2階休憩所 通年
つくば市デジタルサイネージ筑波山の自然データ作成(つくば市観光物産課委託)



筑波学院大学 OCP 説明会 4/18

●環境教育推進事業

筑波学院大学オフ・キャンパス・プログラム学生の受け入れ 6月~10月
2016年7月26日、29日つくばインターナショナルスクール授業 田中・坂口・野村
筑波大学大学院自然保護寄附講座授業 10/17 11/17 12/12 野村・坂口・田中
2016年10月6日千葉県自然観察連絡協議会研修受け入れ 田中
2017年3月12日千葉県柏市下田の森里山協議会研修受け入れ 田中・野村

【企業ボランティア等受け入れ】

2016年5/27、7/4、9/28、株式会社アレフ 谷津田保全活動 のべ42人
2016年6月5日 積水化学工業 42名 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり草刈作業
2016年3月11日 積水化学工業 62名 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり植樹活動

【受賞・寄付】

2016年6月30日 積水化学工業(株)より寄付 30万円
2016年9月23日 BESS フォレストクラブつくばより寄付 10万円
2016年10月 筑波山エコTシャツ寄付 16万円
その他、エコいばらき環境保全基金、省エネ住宅エコポイント、プルデンシャル生命保険(株)、筑波観光鉄道(株)より寄付をいただきました。



インターナショナルスクールの授業 7/29

【新聞等での紹介】

2016年4月30日 常陽新聞「巨木とわたし」筑波山のブナについて
2016年10月1日 常陽リビング「特定外来生物」
2016年10月29日 常陽新聞「筑波山ブナ保全に-Tシャツ売り上げ寄付」
2016年11月5日 常陽リビング「紅葉シーズンの筑波山-自然展開催中」
2016年11月8日 常陽新聞「筑波山の見どころ紹介-ビジターセンター13日まで開設」